

日時	2021年8月10日(火) 9:00~14:30
場所	みきぼうパークひょうご第3球技場及びクラブハウス
参加者	小林顯太 谷 淳平 亀田詩真 齊藤之喜 田中翔輝 三谷優希 西嶋咲音 瀬田順矢
欠席者	北條結羽
スタッフ	三木章嗣、浦元雄一郎、中川琢士、深井佳晶、福岡渉
内容	実技、分析

報 告



【開講式】

- ・自己紹介
- ・この研修で学んでほしいこと

<実技・分析>

第1試合 30分ハーフ

R：田中翔輝 AR1：亀田詩真 AR2：谷淳平



【試合前の様子】



【試合中の様子】

第2試合 30分ハーフ

R：西嶋咲音 AR1：三谷優希 AR2：齊藤之喜



【試合前の様子】



【試合中の様子】

第3試合 30分ハーフ

R：瀬田順矢 AR1：田中翔輝 AR2：谷淳平



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

第4試合 30分ハーフ

R：小林顕太 AR1：三谷優希 AR2：西嶋咲音



【試合前の様子】

《参加者の感想》

- ・緊張をしながらですが、笛を吹いた時には切り替えて、集中してプレーを見られたので、自分なりの動きは、出来たと思います。
- ・反省点でも挙げられていた外へ開く動きが一番の課題であるので、1試合1試合大切に意識を怠らないようにしていきたい。
- ・ポジションニング・カウンターなどのスプリントができなかったので今後意識していきたいです。
- ・普段お会いすることのない審判員やインストラクターの方とご一緒出来て、初対面の方からの意見や、レフェリングから学ぶ事がかなりあった。
- ・このような学ぶ機会が今後もあればうれしいです。

＜新型コロナ感染予防対策＞

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・試合分析時はパーテーションを用いて行った。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・使用する机は、使用前に消毒液でふき取りを実施。
- ・その他は、マスクの着用、手指、机の消毒。



日 時	2021年8月11日(火) 9:00~14:30
場 所	みきぼうパークひょうご第3球技場及びクラブハウス
参加者	小林顯太 谷 淳平 亀田詩真 齊藤之喜 田中翔輝 三谷優希 西嶋咲音 瀬田順矢 塩路香菜 北條結羽
欠席者	
スタッフ	三木章嗣、浦元雄一郎、井上克己、的崎睦子、八巻良輔、福岡涉
内 容	実技、分析

報 告



【開講式】

- ・自己紹介
- ・この研修で学んでほしいこと
- ・昨日の研修から

<実技・分析>

第1試合 30分ハーフ

R：北條結羽 AR1：瀬田順矢 AR2：齊藤之喜



【試合前の様子】



【試合中の様子】

- ・自分のできてないところや改善するところがみつかりました。久しぶりにインストラクターの方にみていただいて、いろいろ教えてもらったので明日の研修で頑張りたいと思いました。
- ・ライン際でのタッチジャッジにおいて、どちらのチームが最後に触れたかを判定する場面で迷う所が多々あった。それぐらい際どく難しいジャッジが続いた。
- ・自信を持ってフラグアップ出来ていた中で、バタバタと分かりやすく迷っていました。その対応が自分の実力に気がつきました。

第2試合 30分ハーフ

R：谷淳平 AR1：小林顕太 AR2：塩路香菜



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・主審をしてみて、体力的に後半になるとスプリントが出来なくなるのもっと体力をつけていきたいと思いました。
- ・普段主に審判をしている女子よりもスピード感や展開の早さに最初は焦ったが、しっかりついていけて良かった。最後の方になると走り出しのタイミングが遅くなったりと、体力の無さを実感したので、改善していきたい。

第3試合 30分ハーフ

R：三谷優希 AR1：北條結羽 AR2：齊藤之喜



【試合前の様子】



【試合中の副審の様子】

- ・思っていた以上に緊張しました。あまりしたことがない経験ができてとても良かったです。今後もこのような研修をしてうまくなりたいです。
- ・ズレなきよう終始オフサイドラインをキープできるようになりました。2試合目では、守備競技者が攻撃側競技者の服を思いっきり引っ張り、攻撃側競技者も負けじと腕で思いっきり守備側競技者を押し返すという場面があり、「この状況はファウルなのか？」と色々考えていました。自分でファウルと判断したのであれば、旗を上げて主審のサポートをしてみても良かったのではないかと、思い返しています。

第4試合 30分ハーフ

R：西嶋咲音 AR1：塩路香菜 AR2：田中翔輝



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・今日は副審を行いました、ボールの出し手とオフサイドラインが離れており、かつオフサイドラインで競技者の入れ替わりが激しい際にオフサイドかどうかの判定が難しく感じました。

《参加者の感想》

(他の審判員を見てどう感じましたか?)

- ・副審が非常に上手な方が多く、残り少ない期間で多くのことを学びたいと思いました。
- ・人それぞれ、審判の仕方が違って驚きました。とくに、先輩方の審判は、自分の課題としているものを実践されているのですごく勉強になりました。
- ・距離を近くして見ていたり運動量が多かったりと自分と比べて説得力があったと思います。

(今日の研修会はどうでしたか?)

- ・今日は主審と副審の役割の確認の重要性や、DOGSO.SPAの可能性が起きるかもしれないシチュエーションについてインストラクターから学ぶことができました。
- ・自分では見ているつもりでもインストラクターの方からは見えているのかわからないような感じだったと言われて、見るための準備やポジショニング、角度をつけたり説得力をもたすために距離を近くにしてみたりと試合を通していいポジションで判定を心がけることを学びました。また、自分の担当した試合の中で、再開方法の曖昧なところもあり、それも崎さんから教えていただいたので競技規則の部分とその他の部分の理解を深めていきたいと思います。
- ・マネジメントについて、首を振りすぎないこと、腰を使ったファウル、飲水時のボールの管理などです。
- ・沢山の初対面の方と交流して、その人それぞれの審判のスタイルがあり、自分が苦手意識を持っている部分を他の審判員は自信を持って判断している所をみてとても参考になりました。
- ・このような学ぶ機会が今後もあればうれしいです。

＜新型コロナ感染予防対策＞

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・使用する机は、使用前に消毒液でふき取りを実施。
- ・試合分析時はパーテーションを用いて行った。
- ・その他は、マスクの着用、手指、机の消毒。



日 時	2021年8月12日(水) 9:00~14:30
場 所	みきぼうパークひょうご第3球技場及びクラブハウス
参加者	小林顯太 谷 淳平 亀田詩真 齊藤之喜 田中翔輝 三谷優希 瀬田順矢 塩路香菜 北條結羽
欠席者	
スタッフ	三木章嗣、浦元雄一郎、井上克己、深井佳晶、中川豚土、川瀬良裕
内 容	実技、分析

報 告



【開講式】

- ・自己紹介
- ・この研修で学んでほしいこと
- ・昨日の研修から

<実技・分析>

第1試合 30分ハーフ

R: 北條 結羽 AR1: 小林 顯太 AR2: 齊藤 之喜



【試合中の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・率直に、「何もできていなかった」と思いました。動きにしても判定にしてもまだまだできてない、と感じました。
- ・まだまだ足りない部分があると感じました。(主審との協力する面など)
- ・ゴールキックやハンドを判定する際に少し迷いが出てしまったため、次はそこを修正してしっかりと合図できるようにしたいです。

第2試合 30分ハーフ

R：塩路 香菜 AR1：谷 淳平 AR2：三谷 優希



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・まだまだ出来ていない部分が多いなと感じました。
- ・副審をするときは、オフサイドラインの監視だけでなく、主審から見えないところで起こったファウルも注意して監視しなければならないことを学びました。

第3試合 30分ハーフ

R：瀬田 順矢 AR1：小林 顕太 AR2：北條 結羽



【試合前の様子】



【試合中の様子】

- ・接触する場面が多くて、判定に迷いが生じていたように思います。今回は、反省しかありません。指導してもらった中で、反省する点ともっと出来ることを、見つけ出せました。
- ・「どのタイミングでどこに動き出すか」や「どうやったら自信を持って判定ができるようになるか」が課題です。
- ・

第4試合 30分ハーフ

R：田中 翔輝 AR1：谷 淳平 AR2：齋藤 之喜



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・今日は自分の担当した試合、他の審判員の試合を見て PK、DOGSO、SPA を想定した移動や見かた、距離を取る大切さをインストラクターから教えていただきました。キーインシデントになる場面でもあり、より判定に説得力を持たせられるようにするために大切なことを学ぶことができました。
- ・主審を今日は担当しましたが、ボディランゲージの強化と DOGSO、SPA が起こるシチュエーションを整理してポジショニングを取り、判定に説得力を持たせることができるようにしたいと思いました。

《参加者の感想》

(他の審判員を見てどう感じましたか?)

- ・副審が非常に上手な方が多く、残り少ない期間で多くのことを学びたいと思いました。
- ・人それぞれ、審判の仕方が違って驚きました。とくに、先輩方の審判は、自分の課題としているものを実践されているのですごく勉強になりました。
- ・距離を近くして見ていたり運動量が多かったりと自分と比べて説得力があったと思います。

(今日の研修会はどうでしたか?)

- ・インストラクターに試合を見ながら色々と解説して頂いて、上級のレフェリーがどのような所を見ながら審判をしているのかと言うことを聞いてとても勉強になりました。
- ・選手に対して、近寄る時の態度、自分の見たものを素直に反応する、発言などを学びました。
- ・選手、ベンチ、観客や色んな人たちに信頼を得られる審判になりたいです。
- ・今後は競技規則に沿って正しく判定することはもちろんですが、円滑に試合を進めることができる様に審判員、競技者、運営の方とのコミュニケーションを大切にすることができる審判員になりたいと思います。
- ・副審としては、主審を最大限サポートできるように、主審を配慮して気遣えるような副審になりたいと思いました。
- ・このような学ぶ機会が今後もあればうれしいです。

＜新型コロナ感染予防対策＞

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・使用する机は、使用前に消毒液でふき取りを実施。
- ・試合分析時はパーテーションを用いて行った。
- ・その他は、マスクの着用、手指、机の消毒。



日 時	2021年8月13日(木) 9:00~14:30
場 所	みきぼうパークひょうご第3球技場及びクラブハウス
参加者	小林顯太 谷 淳平 亀田詩真 齊藤之喜 田中翔輝 三谷優希 瀬田順矢 石川帆菜
欠席者	
スタッフ	三木章嗣、浦元雄一郎、深井佳晶、中川豚士、川瀬良裕、的崎睦子
内 容	実技、分析

報 告



【開講式】

- ・自己紹介
- ・この研修で学んでほしいこと
- ・昨日の研修から

<実技・分析>

第1試合 25分ハーフ

R: 齊藤 之喜



【アカデミーチーフ：三木より】

上の写真は、この研修で初めてサッカーの審判を経験した審判員です。旗を持つのも初めて、笛を持つのも初めての審判員です。初日、副審をしているときには後ろにインストラクターをつけ、動きの確認を行いながら進めた。3日目になると後ろにインストラクターをつけずに1人で行うまでに成長してくれました。

4日目に主審をしたいということで対戦チームに承諾を得て、シャドー審判（指導審判員がフィールドに入り、適時動き方や判定に関してサポートする）を行いました。初めて審判を行った審判員にもいい研修会がもてたと思います。このような研修会を今後も続けていければと感じました。

【初めて審判を行った審判員より】

- ・主審は、位置取りがすごく難しいなと感じました。ファウルや、副審を見るのがあまりできなかったのもそこにも目を配れるようにしていきたいです。
- ・主審の難しさ。副審の重要さを学びました。
- ・オフサイドをフラッグアップして主審に伝えられたことがうれしかったです。

第2試合 30分ハーフ

R：瀬田 順矢 AR1：石川 帆菜 AR2：小林 颯太



【試合前の様子】



【試合中の様子】

- ・主審では、ペナルティーエリア内の中で水溜まりがあり、そこからの予測が出来ていませんでした。
- ・オフサイドの判定について、2列目がいる時はギリギリまで待ってからフラッグをあげること、
- ・キーパーと接触しそうな時は早めにあげることなどを学びました。

第3試合 30分ハーフ

R：三谷 優希 AR1：田中 翔輝 AR2：谷 淳平



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・担当したA1サイドでキーインシデントとなる事象が発生したのに対し、うまくサポートできない状態でした。何が起こるのかを考えて主審のサポートができるようにしていきたいです。

第4試合 30分ハーフ

R：小林 颯太 AR1：瀬田 順矢 AR2：齋藤 之喜



【試合前の様子】



【映像を用いて試合分析の様子】

- ・雨などの悪天候での審判が難しいなと感じました。
- ・副審では、キーパーのリリースポイントを見ず、最終ラインに行ってしまったことが課題です。

第5試合 30分ハーフ

R：谷 淳平 AR1：田中 翔輝 AR2：石川 帆菜



【試合前の様子】



【試合中の様子】

- ・大事な場面で判定基準にブレがあったように感じ、反省しています。このままでは昇級審査において良い結果は得られません。今後しっかりと注意していきたいと思いました。
- ・オフサイドで、守備側競技者の「意図的なプレー」は、ボールが出てから反応したか、ボールが出る前に反応していたか、によって見極めるということです。

《参加者の感想》

(今日の研修で学んだことは何ですか?)

- ・主審では、負傷時の対応。副審では、キーパーのリリースを見てから、最終ラインに行くことを学びました。
- ・今日学んだことは、DOGSO、SPA が起こる可能性、状況をしっかりと把握しておくことの重要性を特に学びました。
- ・距離を近くして見ていたり、運動量が多かったり、と自分と比べて説得力があったと思います。

(今日の研修会で自分がよかったと思うところはどこですか?)

- ・角度をつけて、プレーをはっきり見えた時が何回かありました。常にもっと見られるように頑張りたいと思いました。
- ・副審のとき、ファウルサポートができました。
- ・今日よかったところは、オフサイドが起こる可能性をしっかりと見極めしっかりと判定することができたところです。
- ・自分の割り当ての1試合目にオフサイドが完全成立するまで待てずに慌ててあげてしまったけど、それを次の試合で副審をしたときに修正してしっかり待ってからフラッグをあげることが出来たことです。
- ・オフサイドをフラッグアップできたことです。

＜新型コロナ感染予防対策＞

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・使用する机は、使用前に消毒液でふき取りを実施。
- ・試合分析時はパーテーションを用いて行った。
- ・その他は、マスクの着用、手指、机の消毒。